

大工だいく

大工だいくのイエスさま

イエスさまのお父とうさんのヨセフは大工だいくの仕事しごとをして生活せいかつのかてを得えていました。イエスさまも、大おおきくになると、お父とうさんのヨセフと同じおなじように、大工だいくの仕事しごとをしていました。大工だいくの仕事しごとといつても、日本にほんのようにに家を建たてる人ひとではなく、農具のうぐの修繕しゅうぜんをしたり、家具かぐを作つくったりしていました。

イエスさまのことをよく知しっていたナザレひとの人ひとび

とは、イエスさまのことを、はじめからばかにしていません。どうせ、大工だいくをしていたやつだから、たいしたことはない。

目めのまえで、イエスさまが人ひとびとに教おしえ、病人びょうにんをいやされても、イエスさまを受け入うれようとはしませんでした。イエスさまも、あえて、人ひとびとに強つよくうつたえようとしませんでした。

イエスさまに従したがった人ひとたちは、後あとでイエスさまをキリストとして呼よぶようになります。イエスさまが大工だいくをしていたことを無視むしするようになりました。どうしてそうなったかという、イエスさまをキリストとして皆みなに伝つたえる時ときに、ガリラヤしゅっしんの出身しゅっしんで、おまけに大工だいく

をしていたのでは、皆が相手にしないことが分かって
いたからです。

イエスさまを受け入れた人たちは、イエスさまがユ
ダヤのベトレヘムで生まれたんだと主張するように
なりました。そうすれば、イエスさまがダビデの子孫
であることを強く主張できるからです。

私たちは、こうしたイエスさまの姿をどのよう
受けとめているのでしょうか。神の子としてのイエス
さまにすぎりついて、大工のイエスさまを認めようと
しないのではないでしょうか。

みなさんは、どのようなイエスさまの姿を想像しま
すか。想像したことを、つぎの空白に書いて下さい。

